



## 東京情報大学入学式における学長式辞

東京情報大学  
学 長 新沼 勝利

桜花爛漫の佳き日に、多数のご来賓、ご家族並びに関係者の皆様をお迎えして、平成22年度東京情報大学の入学式を執り行いますことは、誠に慶びに堪えません。心から歓迎と祝意の意を表します。

本日は、ご来賓として、本学の設置者である学校法人東京農業大学理事長の代理としてご臨席いただきました鈴木昌治常務理事、設置母体を同じくする東京農業大学・東京農業大学短期大学部大澤貫寿学長、学校法人の常務理事、理事、監事、名誉顧問、本学の名誉教授、学校法人連合後援会会長、東京農業大学校友会千葉県支部長、東京情報大学校友会会長の皆様、東京情報大学後援会浅井美文会長、ほか多数の方々のご臨席をいただいております。厚くお礼申しあげます。

ただ今、入学を許可された大学院博士後期課程1名、博士前期課程26名、総合情報学部 情報システム学科、環境情報学科、情報ビジネス学科及び情報文化学科の4学科487名、編入生8名、大学院・学部合計522名の諸君、入学おめでとう、今日から皆さんは本学の学生になりました。

入学生には、留学生37名が含まれています。留学生の皆さん、言語も生活習慣も文化も異なる日本で学ぶのは大変なことでしょう。本学には地元地域のお母さん方が中心になって組織するボランティア「留学生との交流を深める会」があります。留学生歓迎会、日本文化体験会、クリスマス会、異文化交流会などが開催されますので、積極的に参加して日本の文化に慣れ親しんでください。

入学生の皆さん、勉学に、課外活動に、青春の情熱を傾け悔いのない学生生活を送ってください。

入学式にあたり、在学中に考えてほしいこと、また心にとどめて欲しいことを3つ述べます。本学の「建学の精神」、「教育理念」、「学生指導の理念」のことでです。

本学の建学の精神は「未来を切り拓く」です。「未来を切り拓く」とはパイオニア精神のことです。本学は、創立23年目を迎えました。昭和63年(1988年)に学校法人東京農業大学によって設置されました。東京農業大学は創立119年目を迎える、我が国で最も古く、最大規模を誇る生物系の総合私立大学です。東京農大の創設者は、戊辰戦争最後の戦いである函館戦争の総指揮官であった榎本武揚です。榎本は敗軍の将として囚われの身となりましたが、その抜群の才能が惜しまれ、一命をとりとめ、明治新政府の通信大臣、文部大臣、外務大臣及び農商務大臣を歴任しました。

榎本は、江戸幕府留学生の第1号としてオランダで勉強しました。その1つに電信技術の修得があります。モールス電信技術をマスターし、帰国の時モールス電信器を持ち帰ります。我が国最初のモールス電信器です。現在その電信器は、東京大手町の通信総合博物館に収められています。

東京情報大学は、21世紀の高度情報化社会を支える人材の育成を目指して学校法人東京農業大学によって設立されたことはお話ししましたが、それは榎本武揚が明治政府初代の通信大臣として電信情報のインフラ整備に情熱を注いだ、その線路上につながるものです。榎本は、電信技術への貢献の外、

北海道開拓、メキシコ移住地の開発、不平等条約解消への取り組みなど新生日本の未来を切り拓いて行きました。この榎本武揚の「未来を切り拓く」情熱、パイオニア精神、チャレンジ精神を、本学の建学の精神としています。本学は、皆さんが目標に向かって積極的にチャレンジし未来を切り拓くパイオニア精神を培うための支援を行います。

第2に、本学の教育理念は「現代実学主義」です。実学とは、実際の経験、体験を通じ、実際の事物、社会現象から科学的本質に迫る研究方法です。東京農大の初代学長横井時敬は、実学主義教育研究の理念を「稲のことは稲に聞け、農業のことは農民に聞け」と言い、実際に役立つ応用科学を重視し学生の教育に情熱を注ぎました。

本学もまた、現代実学主義教育研究理念をかかげ、カリキュラムの改正、分野研究室の充実など、教育環境条件の整備に努めてきました。今や、学生研究室も含め情報系の大学、学部ではどこにもヒケをとらない大学だと自負しています。3年次から全員が研究室に所属します。研究室のすぐ隣には教員研究室があり、先生とコミュニケーションが深められます。本学は、皆さんが現代実学主義について大いに議論を深め、体験、経験、事実から学ぶ姿勢を身につけられるよう支援していきます。

本学は、総合的キャリア教育を実践します。大学生活のなかで「なりたい自分」や「なれる自分」について考え、満足がいく進路（就職、進学など）選択ができるように「専門教育及び基礎能力の強化」「対人能力強化」「職業意識の醸成」「就職支援」を1年次からカリキュラムに取り込んでいます。

資格取得にも取り組みます。国家試験のITパスポート試験を卒業まで大学費用で全学生に受験してもらいます。その他にも資格取得のための勉強会である「スコーラ」において、コンピュータ、会計学、英語など様々なサポートしています。資格取得は有力な就職対策の1つです。4月早々に各種スコーラの説明会がありますので、積極的に参加しチャレンジしてください。また、今年度から学芸員課程を設置しました。興味のある皆さんは、博物館の職員に必要な国家資格・博物館学芸員資格取得に挑戦してみてください。

第3は、本学の学生指導の理念は「自立と協調」の精神です。

最近、社会一般で、親離れができない、自分の考えがしっかりしないという青少年が目立つとも言われています。激動の21世紀を生き抜くためには、自分をしっかりと見つめること、自立した人間になるように努めること、そして他人と協調していくことが大切です。社会は人間の集団です。協調なくして何ごとも実現できません。自立と協調のバランスをとることが大切です。

本学では、自立と協調の精神を培うため課外活動を奨励しています。各種のクラブ、サークル、翔風祭実行本部など、様々な課外活動団体に属し、練習、試合、コンクールなどを通して、多くの友人と切磋琢磨して成長してもらいたいと考えています。

本学のクラブ・サークル活動の一端を紹介します。硬式野球部は昨年千葉県大学野球連盟秋季リーグ戦1部で4度目の優勝を果たし、2人のプロ野球選手を出しています。バドミントン部は、昨年の千葉県学生秋季リーグ戦1部で3季連続の男子団体・女子団体でアベック優勝しました。サッカー一部は関東大学女子リーグで2部に昇格し更なる活躍が期待されます。文化面では、昨年度千葉県メディア・コンクールで本学学生が3年連続最優秀賞を受賞しました。毎年10月には学園祭である「翔風祭」も行われます。学生諸君も積極的に加わって学園祭を盛り上げてください。

建学の精神である「未来を切り拓く」パイオニア精神を常に心に持ち続け、研究室や実習・演習を通して「教育理念」である「現代実学主義」を学んでください。課外活動で「自立と協調」の精神を培ってください。

特に東京農業大学と東京情報大学は兄弟校であり、東京農大と本学との間には、単位の互換、国内留学の制度がありますので是非活用し、学生同志の交流を盛んにしてください。また、東京農大との研究交流についてですが、この3月、本学に「東アジア東岸域の環境圏とそれに依存する経済・社会圏の持続的発展のための総合研究」の活動拠点となる「東アジア環境・経済研究棟」が完成しました。これを契機に、今後東京農大生物産業学部のオホーツク海域、宮古亜熱帯農場域における研究連携を尚一層進めることとしています。

それでは、健康に十分留意して学生生活をエンジョイしてください。また有意義な生活を送ってください。そのために、大学はあらゆる支援を積極的に行います。なお、本学は自家用車通学を認めていますので、特に事故には十分に留意してください。4月からJR千葉駅から本学正門までノンストップで運行する大学直行バスが路線化になりました。エコ社会を意識して直行バスの方も利用してください。

諸君の成長を大いに期待して式辞といたします。

平成 22 年 4 月 5 日